

# 重度身体障害者の過去・現在・未来

日時

2018年3月3日(土)

13:30～16:00

場所

厚木市文化会館

小田急線「本厚木」駅 徒歩13分

参加費

無料

主催

(一社)日本リハビリテーション工学協会関東・甲信越支部 / 全国頸髄損傷者連絡会 /  
NPO法人ケアリフォームシステム研究会

共催

厚木市 / かながわりハビリロボットクリニック (KRRC) /  
神奈川リハビリテーション病院

【趣旨】

近年、ロボット技術の応用により高度な福祉用具が開発されつつあります。また、2004年に東京頸髄損傷連絡会が発表した「未来予想 2025年の福祉機器生活」から、10年以上の歳月が経過しました。本シンポジウムでは、福祉用具や住まいに対し、何を求め、どのように関わっていけばよいか、様々な立場から検討します。そして、8月に開催される第33回リハビリ工学カンファレンスにつなげていきたいと思っております。

## プログラム

13:00 受付 13:30 開会式

①13:40～14:00 (20分)

「未来予想～2025年の福祉機器生活～」と現実になった未来

麩澤 孝 氏 (全国頸髄損傷者連絡会・日本リハビリテーション工学協会)

②14:00～14:20 (20分)

スマートホームの現状と近未来

松澤 充 氏 (パナソニックエイジフリー(株)マーケティング本部)

③14:20～14:40 (20分)

ロボットと暮らす社会の実現に向けて

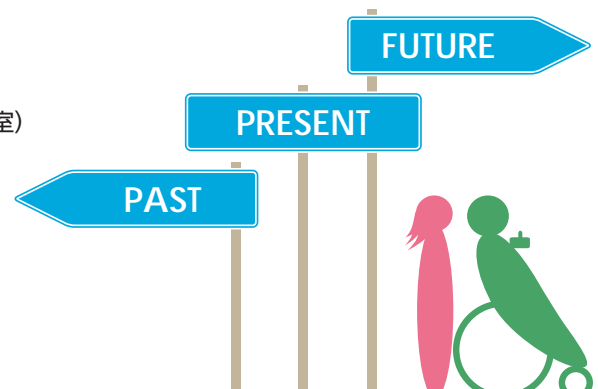
池田幸一 氏 (トヨタ自動車(株)T-フロンティア部グローバル企画室)

〈14:40～14:55 休憩〉

④14:55～15:40 (45分)

パネルディスカッション

15:40 閉会式



お問い合わせ

①神奈川県総合リハビリテーションセンター研究部内  
第33回リハビリ工学カンファレンス事務局 (担当: 村田)  
conf-33@resja.or.jp

②東京頸髄損傷連絡会 (担当: 麩澤)  
tokyokeison2012@gmail.com